

奈良県の現状

■ 一般的現状

・ 奈良県の概要	1
・ 奈良県の人口推移	2
・ 奈良県の将来推計人口（年齢3区分）	3
・ 奈良県の将来推計人口（高齢者人口・比率）	4
・ 健康寿命	5
・ 県税収における法人事業税の割合	6
・ 工業系用途地域面積割合	7
・ 事業所数・従業員数	8
・ 県外就業率	9
・ 1人あたりの商品販売額	10
・ 県外消費率	11
・ 歴史・文化遺産の数	12
・ 観光消費額の状況	13
・ 宿泊施設の客室数	14

■ 道路の現状

・ 道路の整備率	15
・ 県民1人当たりの道路延長	16
・ 都市計画道路の整備率	17
・ 4車線道路の整備率	18
・ 一般国道（指定区間）の延長	19
・ 京奈和自動車道の整備計画	20
・ 紀伊半島アンカールート	21
・ 国道168号の整備状況	22
・ 無電柱化率	23
・ 道路ストックの総点検	24
・ 橋梁長寿命化に関する取組状況	25
・ 通学路の安全対策	26
・ 県内・県外通勤の交通機関分担の割合	27
・ 鉄道・船舶による貨物輸送量	28
・ 自動車貨物総輸送量	29
・ 自動車類10万台あたりの交通事故の発生件数	30
・ 人口10万人あたりの交通事故の発生件数	31
・ 通行止め回数	32
・ 観光客の周遊状況	33
・ 奈良県来訪時の利用交通手段	34
・ 奈良県の公共事業予算額（一般会計）	35
・ 平成25年度当初予算および平成25年2月補正の内訳	36
・ 県土マネジメント部・まちづくり推進局の公共事業の推移	37

奈良県の概要

- 面積は全国の約1%で第40位。
- 人口は全国第30位。
- GDPの全国シェアは約0.7%で第37位。

	全国	奈良県	全国順位
面積 ^{*1} (km ²)	377,950	3,691	40位
人口 ^{*2} (千人)	127,515	1,390	30位
GDP ^{*3} (兆円)	約479	約3.5	37位 (H21年度)

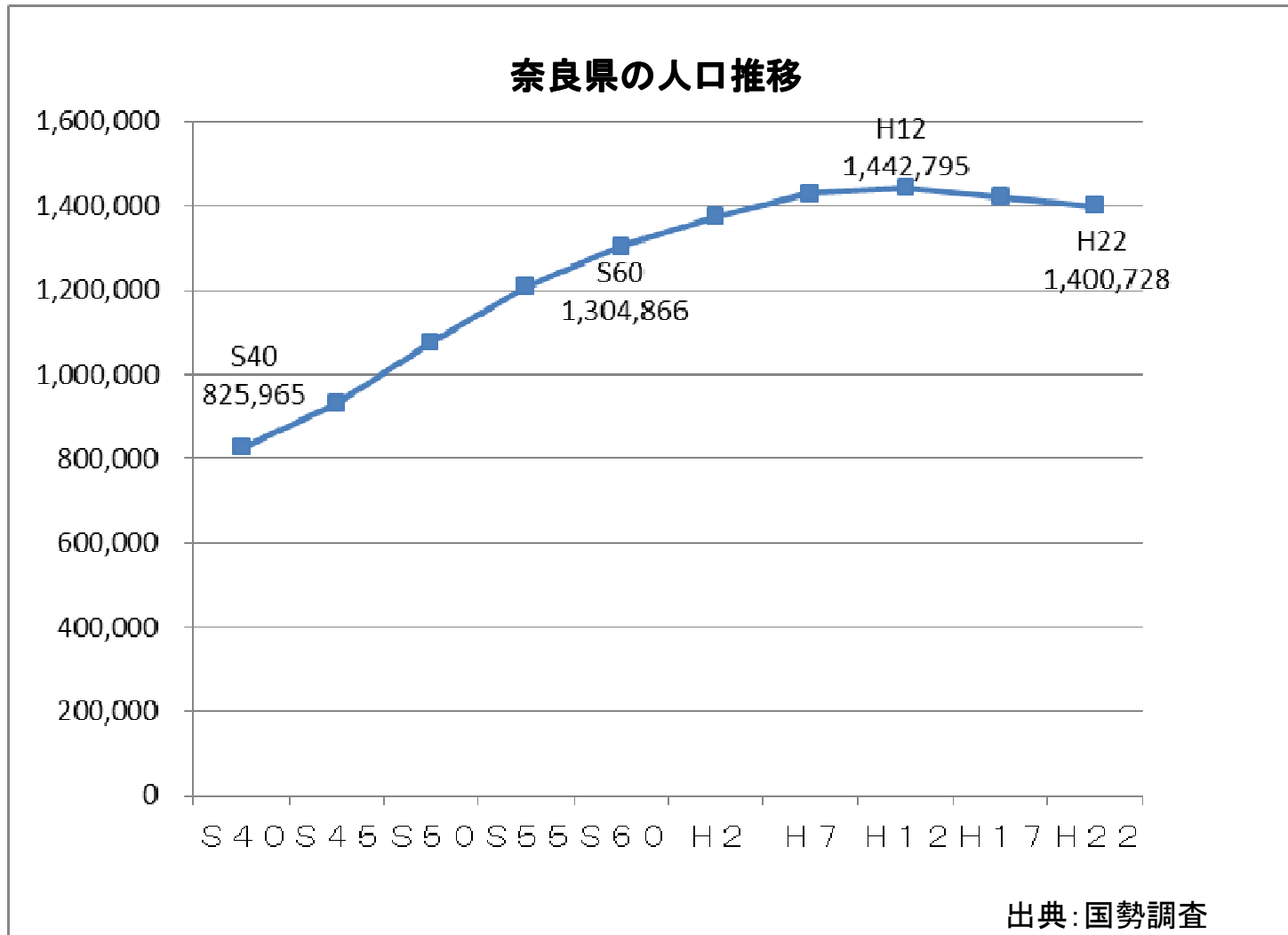
*1 社会生活統計指標(H24.2)

*2 推計人口(H24.10)

*3 平成22年度奈良県版GDP統計

奈良県の人口推移

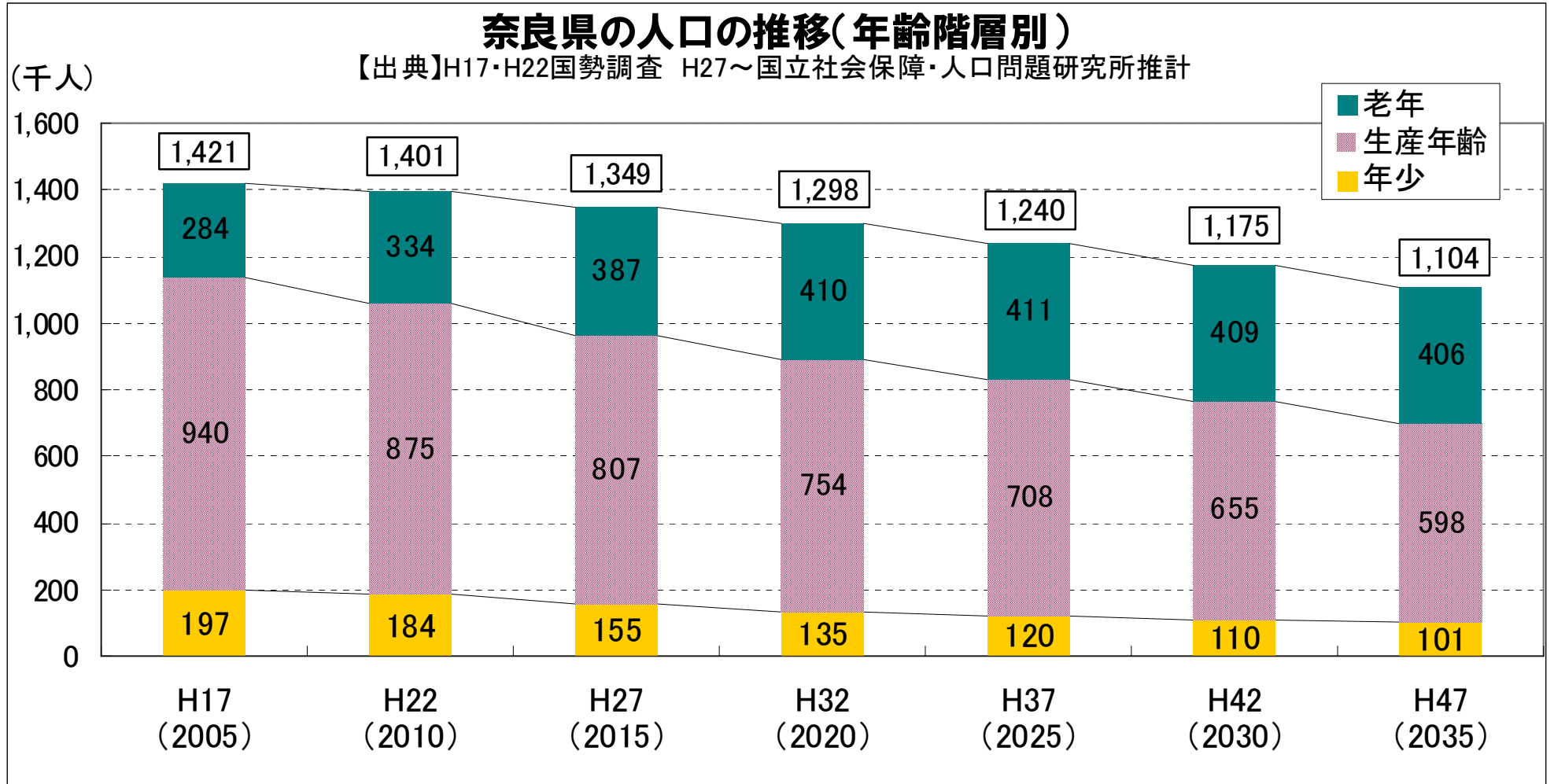
○奈良県の人口は、平成12年をピークに減少。



※全国の推計人口は平成17年以後増減を繰り返し、平成23年24年は連続減少(総務省統計局)

奈良県の将来推計人口(年齢3区分)ー

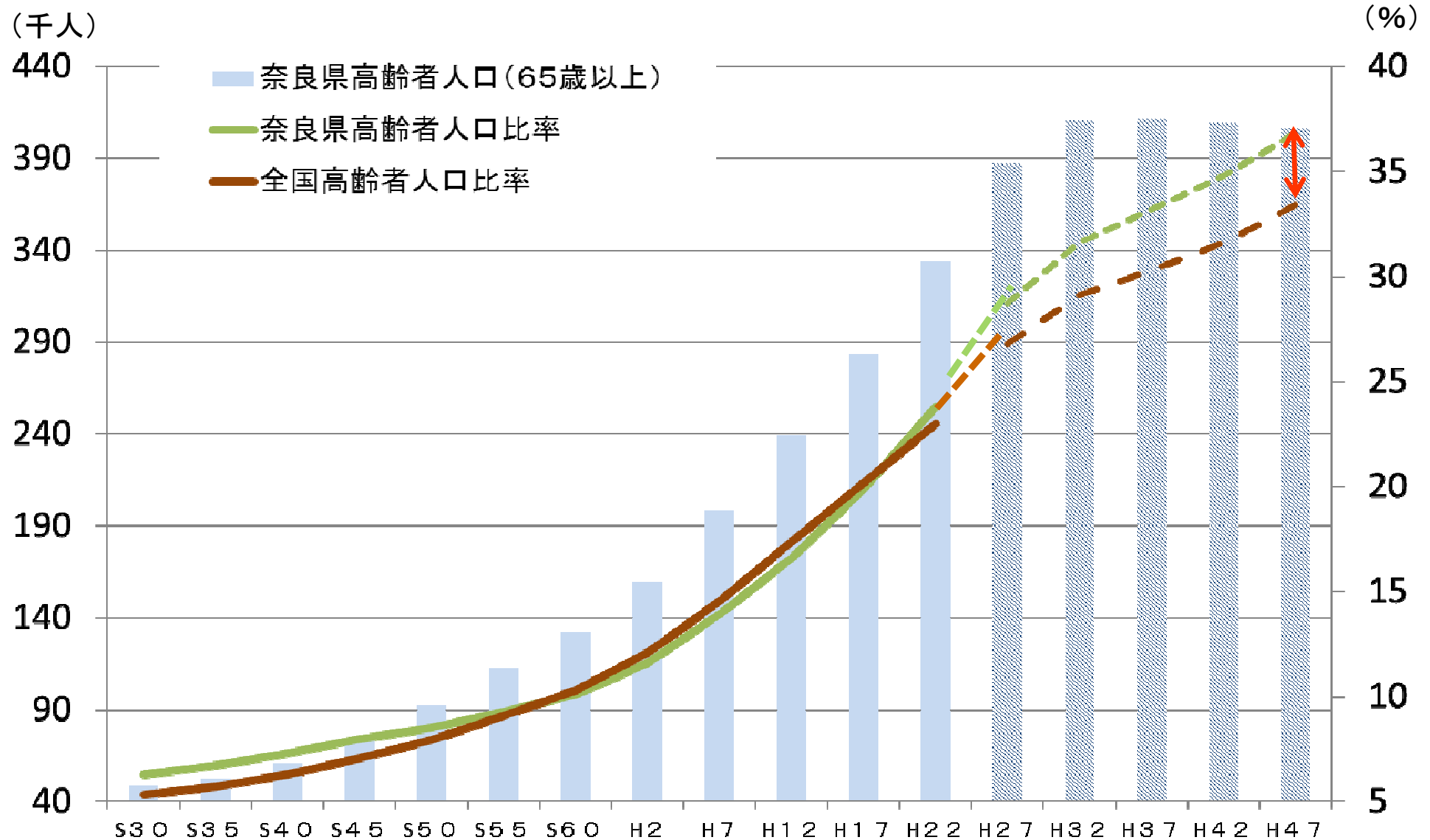
○奈良県の人口は、H22年140.1万人からH47年110.4万人に減少すると推計。
 ○少子高齢化の進展、生産年齢人口が減少傾向。



老年	20.0%	24.0%	28.7%	31.6%	33.2%	34.8%	36.8%
生産年齢	66.1%	62.8%	59.8%	58.0%	57.1%	55.8%	54.1%
年少	13.9%	13.2%	11.5%	10.4%	9.7%	9.4%	9.1%

奈良県の将来推計人口(高齢者人口・比率)

○奈良県では、今後全国よりも速いスピードで高齢化が進むと予測。



健康寿命

○奈良県の健康寿命は、男性は全国第5位、女性は全国第19位。

健康寿命
(平均自立期間)

=

平均余命

-

平均要介護期間

	H17	H19	H20	H21	H22	H23	H24
〔男性〕							
65歳平均余命	20位	18位	10位	9位	17位	2位	8位
<u>65歳健康寿命</u> (近畿順位)	<u>13位</u> (1位)	<u>16位</u> (1位)	<u>8位</u> (1位)	<u>10位</u> (1位)	<u>11位</u> (2位)	<u>2位</u> (1位)	<u>5位</u> (2位)
65歳要介護期間	11位	18位	11位	27位	5位	21位	18位
〔女性〕							
65歳平均余命	33位	32位	40位	22位	26位	29位	23位
<u>65歳健康寿命</u> (近畿順位)	<u>33位</u> (2位)	<u>34位</u> (2位)	<u>38位</u> (3位)	<u>18位</u> (1位)	<u>27位</u> (2位)	<u>22位</u> (2位)	<u>19位</u> (1位)
65歳要介護期間	21位	22位	14位	25位	20位	12位	21位

(※)平成18年は、85歳以上の都道府県人口が公表されていないため、算出不能。

県税収における法人事業税の割合

○奈良県の県税収における法人税の割合は9.2%で全国ワースト1位。

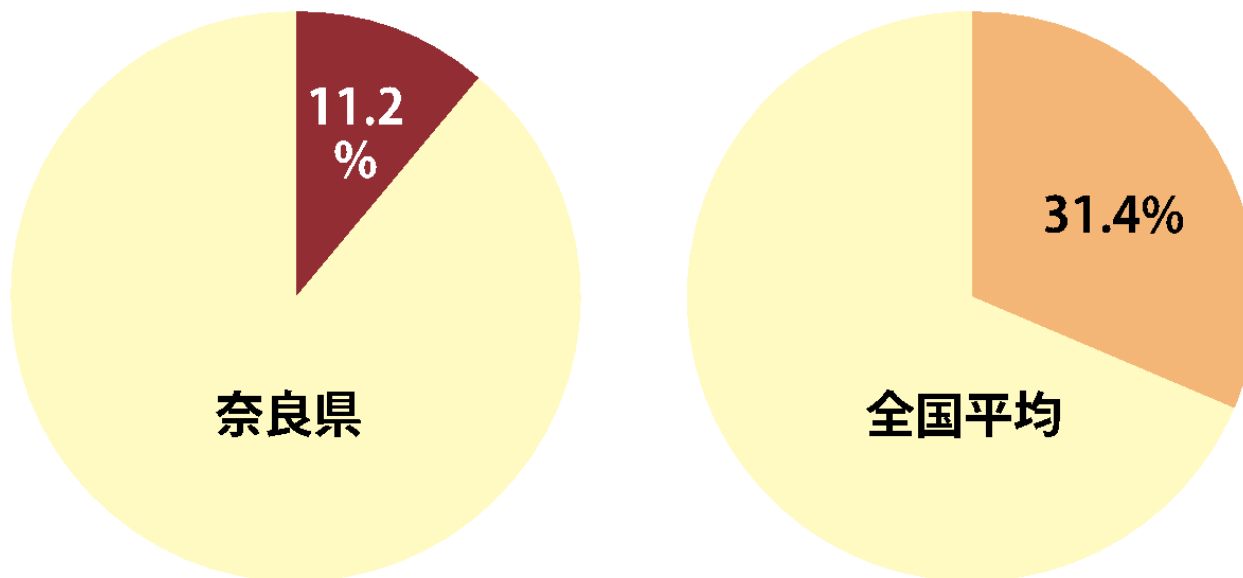
	大阪	滋賀	京都	兵庫	和歌山	奈良
県税収入に占める 法人事業税の割合 (%)	20.0	17.9	16.9	14.6	13.6	9.2
全国順位	2位	4位	6位	21位	30位	47位

〔 地方県税収入のうち、地方消費税の収入額については都道府県間において清算後の額で算出。 〕

工業系用途地域面積割合

○奈良県の全用途地域面積に対する工業系用途地域面積の割合は11.2%で全国ワースト2位。

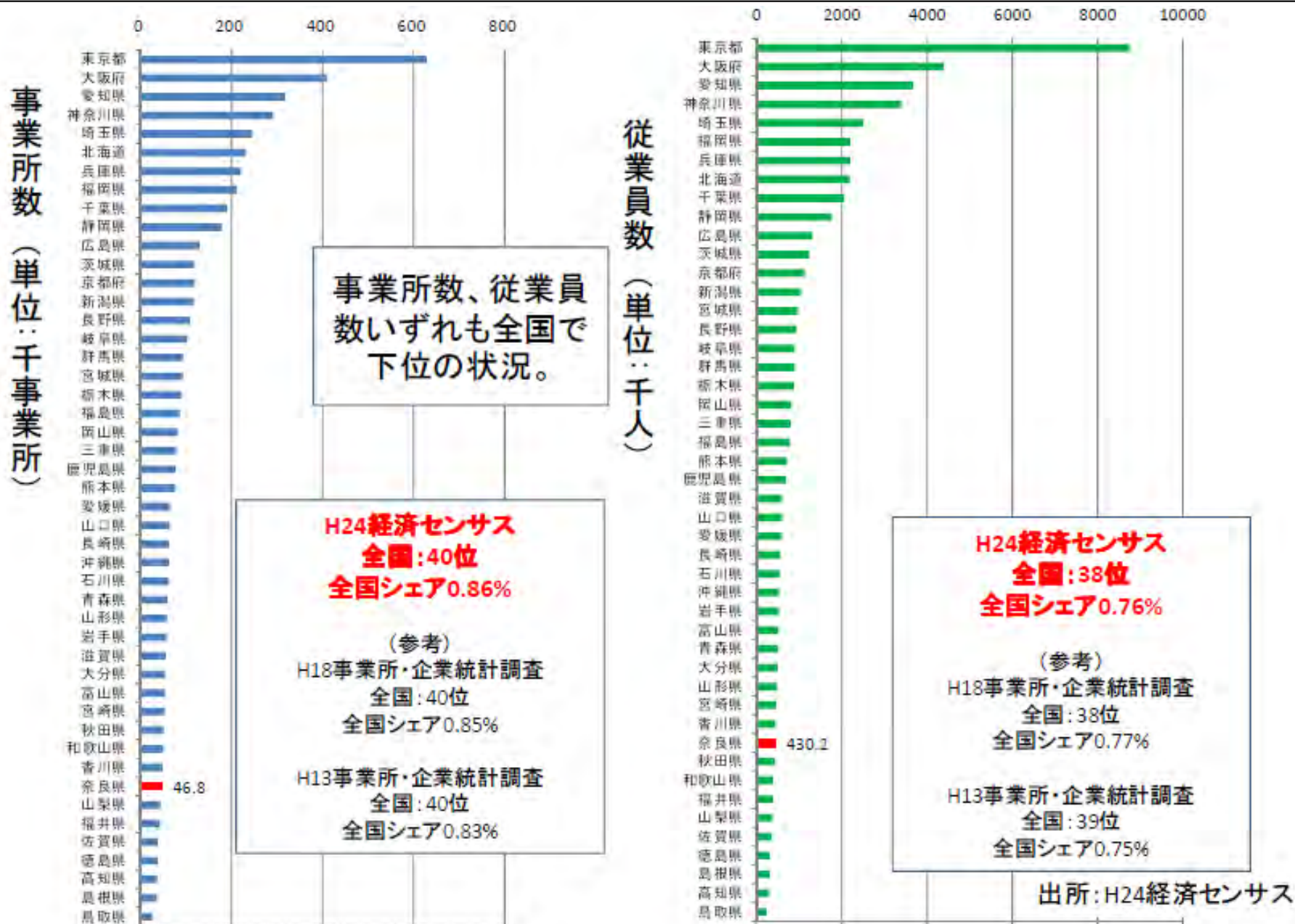
工業系用途地域面積割合(全国46位)



※平成23年度都市計画年報

事業所数・従業員数

○事業所数は全国第40位、従業員数は全国第38位。

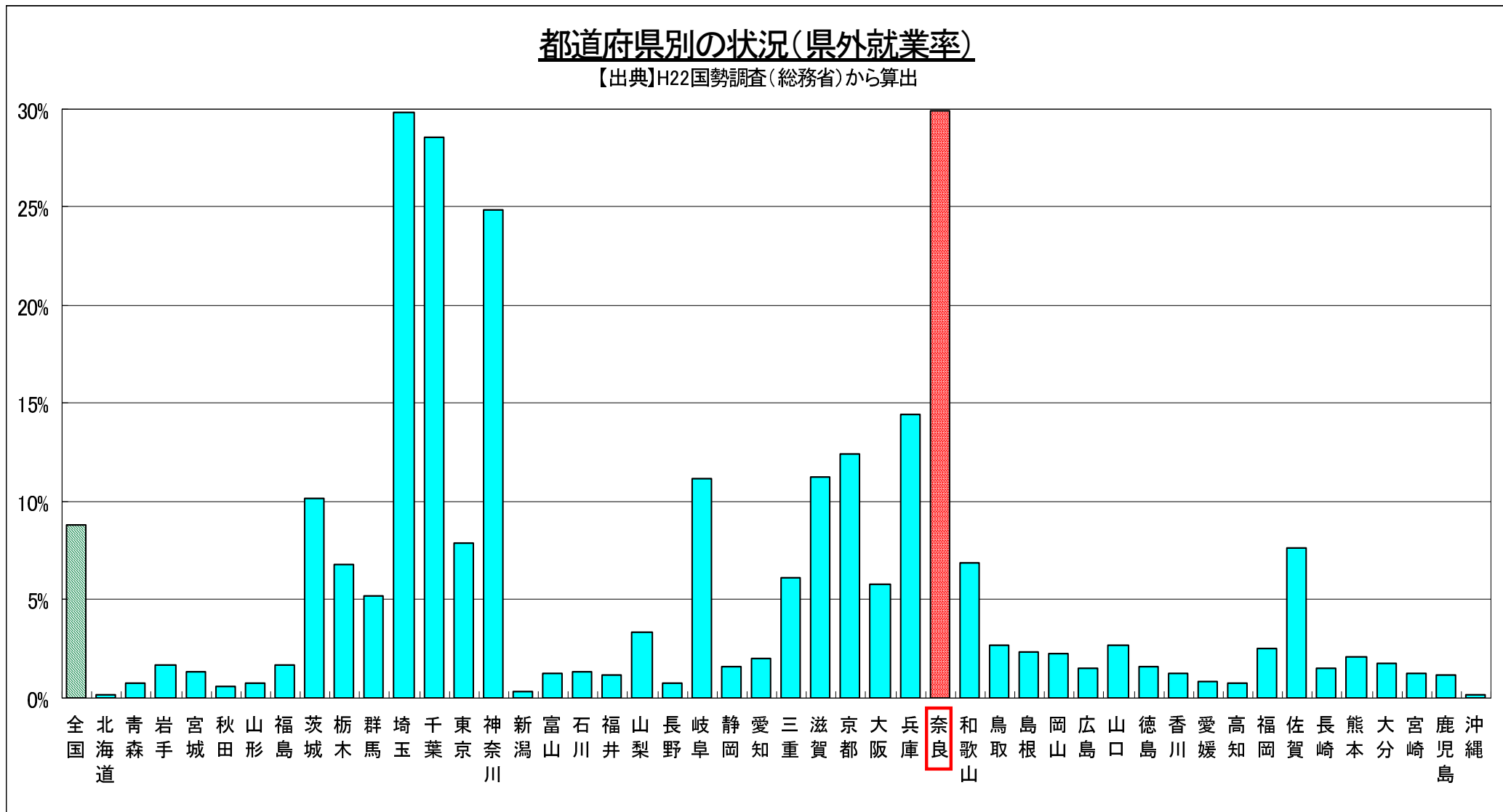


県外就業率

○奈良県の県外就業率は29.9%で全国第1位。

都道府県別の状況(県外就業率)

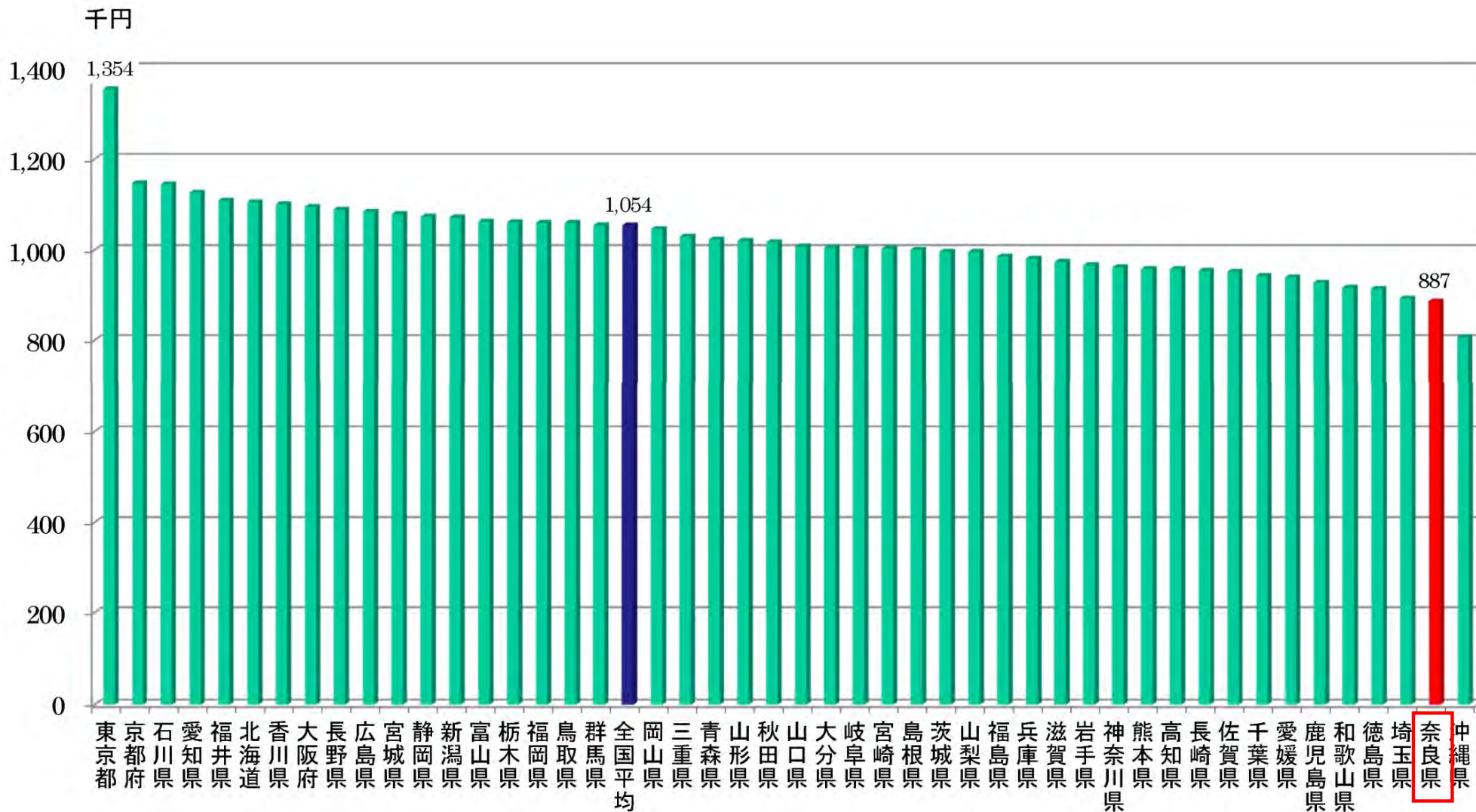
【出典】H22国勢調査(総務省)から算出



就業: 調査対象期間に収入を伴う仕事に従事。就業率: 15歳以上の就業者数 / 15歳以上の人口、県外就業: 就業地が県外

1人あたりの商品販売額

○奈良県の1人あたりの商品販売額は、全国ワースト2位。



出所: H19商業統計、H19.10奈良県推計人口 より計算

県外消費率

○奈良県は、消費支出額が全国第3位と多いものの、県外で消費される割合が全国第1位と高い。

■ 都道府県別 1 カ月平均消費支出 (2人以上の世帯)

	順位	都道府県	消費支出額(円)
上位5県	1	富山県	334,212
	2	神奈川県	329,004
	3	奈良県	327,550
	4	東京都	323,407
	5	滋賀県	323,344
全国平均			300,936

■ 消費支出の県外での購入割合 (2人以上の世帯)

	順位	都道府県	県外での購入割合(%) 〔消費支出〕
上位5県	1	奈良県	15.9
	2	埼玉県	13.4
	3	神奈川県	13.0
	4	茨城県	11.2
	4	滋賀県	11.2

資料：総務省「平成21年全国消費実態調査」

歴史・文化遺産の数（世界遺産、国宝・重文数、史跡数）

○奈良県の世界遺産は3件で全国で最も多い。(全17件中3件)
 ○国宝・重文数は全国第3位、史跡名勝天然記念物数は全国第1位。



世界遺産	登録時期
法隆寺地域の仏教建造物(奈良県)	1993年12月
古都奈良の文化財(奈良県)	1998年12月
紀伊山地の霊場と参詣道(奈良県、和歌山県、三重県)	2004年7月

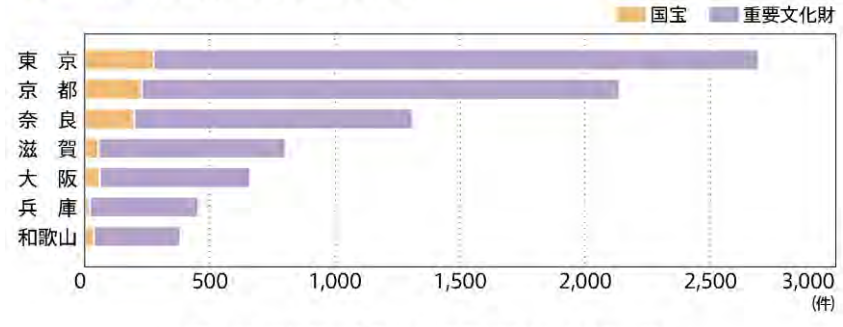
国宝・重文、史跡	件数
国宝・重要文化財	1,313件
史跡名勝天然記念物(国指定)	141件

■ 史跡名勝天然記念物(平成24年1月1日)



資料:文化庁「国宝・重要文化財等都道府県別指定件数一覧」

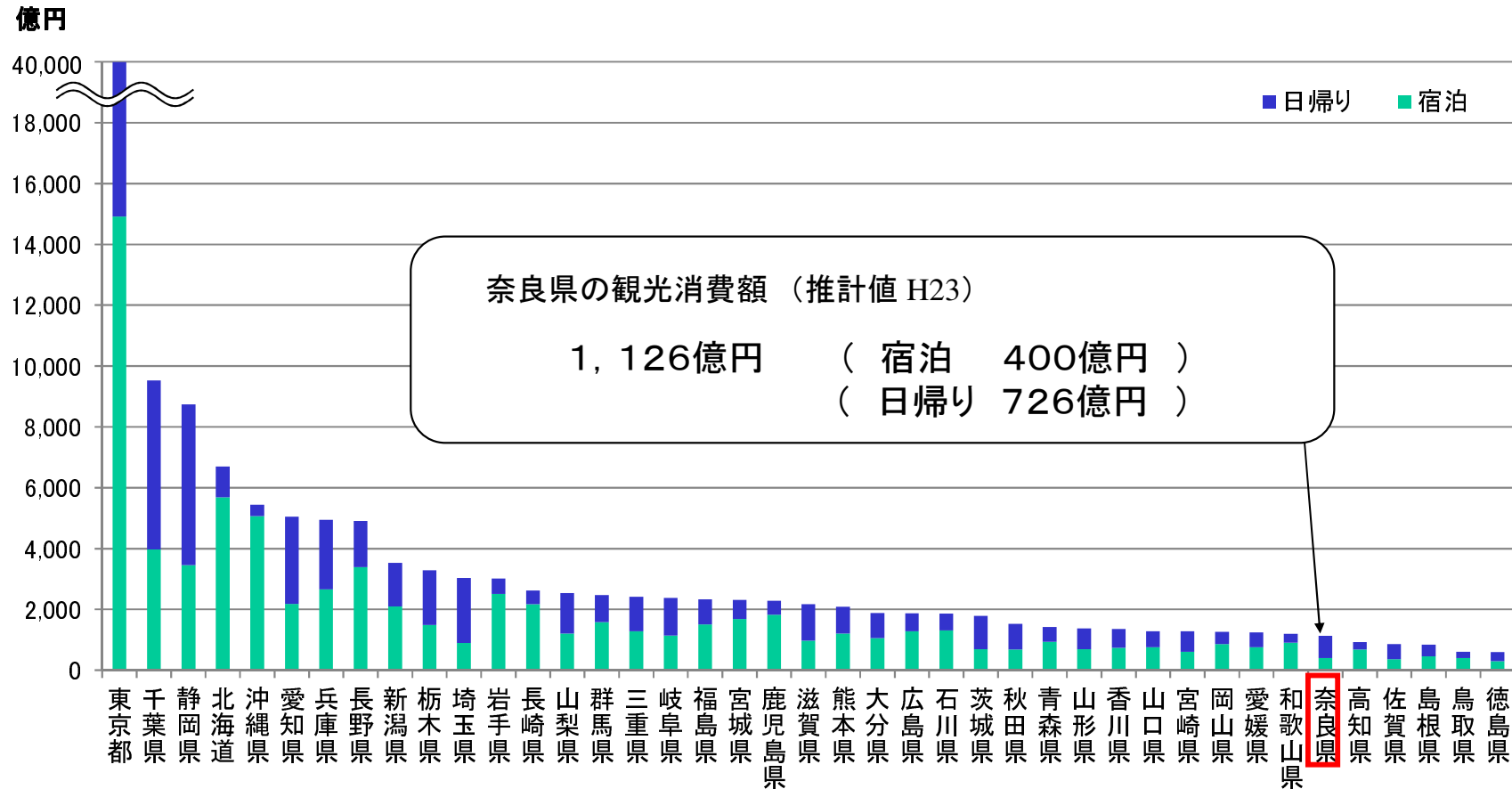
■ 国宝・重要文化財(平成24年1月1日)



資料:文化庁「国宝・重要文化財等都道府県別指定件数一覧」

観光消費額の状況

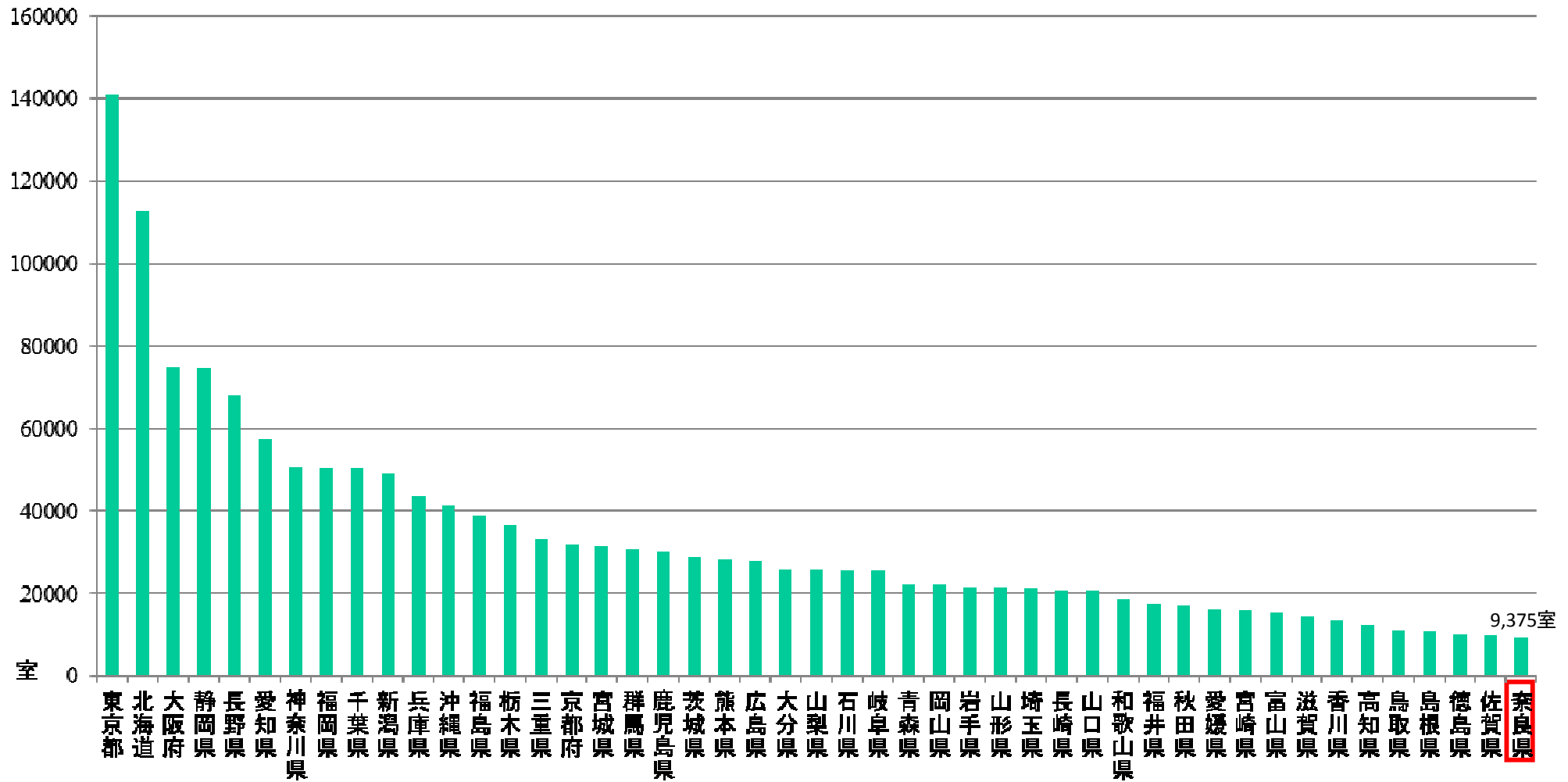
- 本県の観光消費額は1,126億円で全国ワースト6位。
- 宿泊客の観光消費額は400億円で全国ワースト3位。



※大阪府、福岡県は、「共通基準による観光入込客統計調査」を未導入
 ※神奈川県、富山県、福井県、京都府は、集計中(H25年5月現在)

宿泊施設の客室数

○豊富な観光資源を有するにもかかわらず、「ホテル・旅館の客室数」は全国ワースト1位。



出典:厚生労働省大臣官房統計情報部「衛生行政報告例」(平成24年3月末現在)

道路の整備率

高規格幹線道路

	全国	奈良県		全国順位
		全体	うち京奈和自動車道	(全体)
計画延長	※ ¹ 14,000km	97.1km	47.5km	46位
開通延長	10,397km	※ ² 69.0km	19.4km	47位
整備率	74%	71%	41%	32位

※¹ 全体構想 約14,000km

(H25.3.31時点、全高速調べ)

※² 西名阪自動車道・名阪国道は完成済み(49.6km)

一般道路（国道＋県道）

	全国平均	奈良県	全国順位
道路整備率	約61%	約40%	46位
歩道整備率	約41%	約26%	45位

(道路統計年報2012)

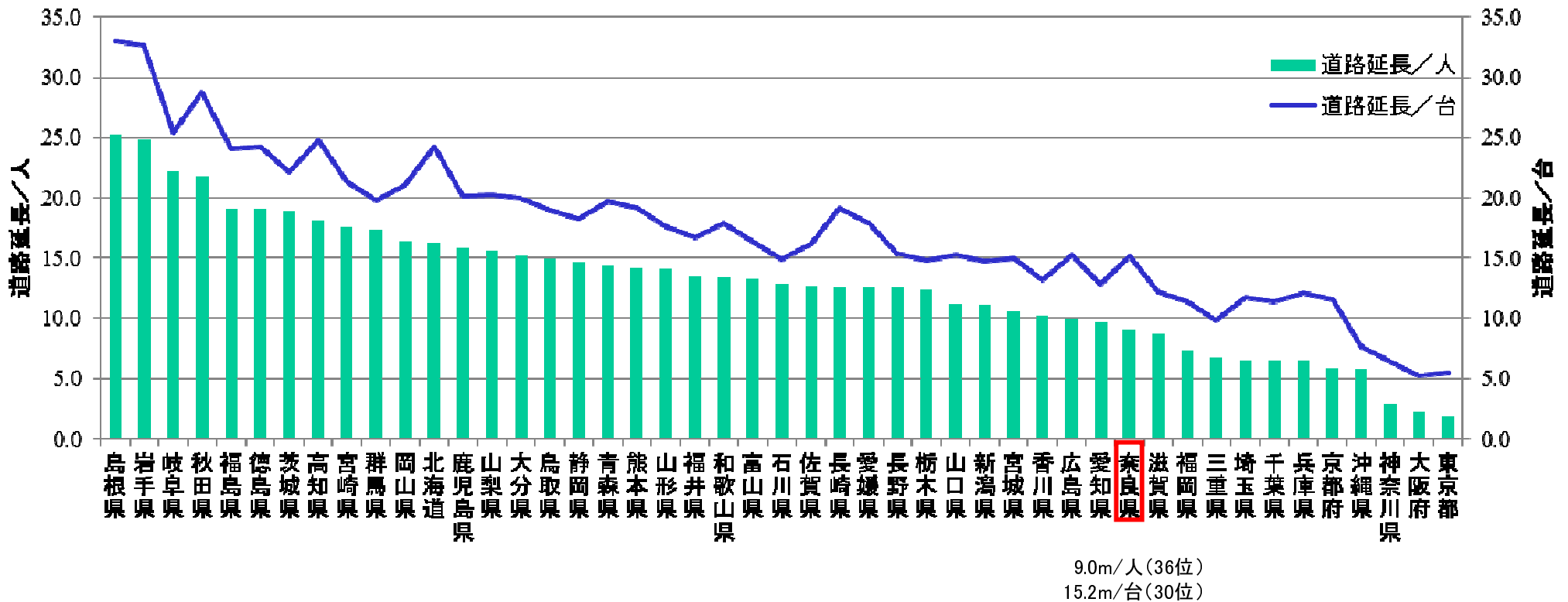
※整備率＝整備済延長／実延長

整備済延長＝改良済延長(車線幅5.5m以上)－混雑度1.0以上の延長

県民1人あたりの道路延長

○奈良県の県民1人あたりの道路延長は9.0m/人で全国第36位。

○自動車保有台数1台あたりの道路延長は15.2m/台で全国第30位。



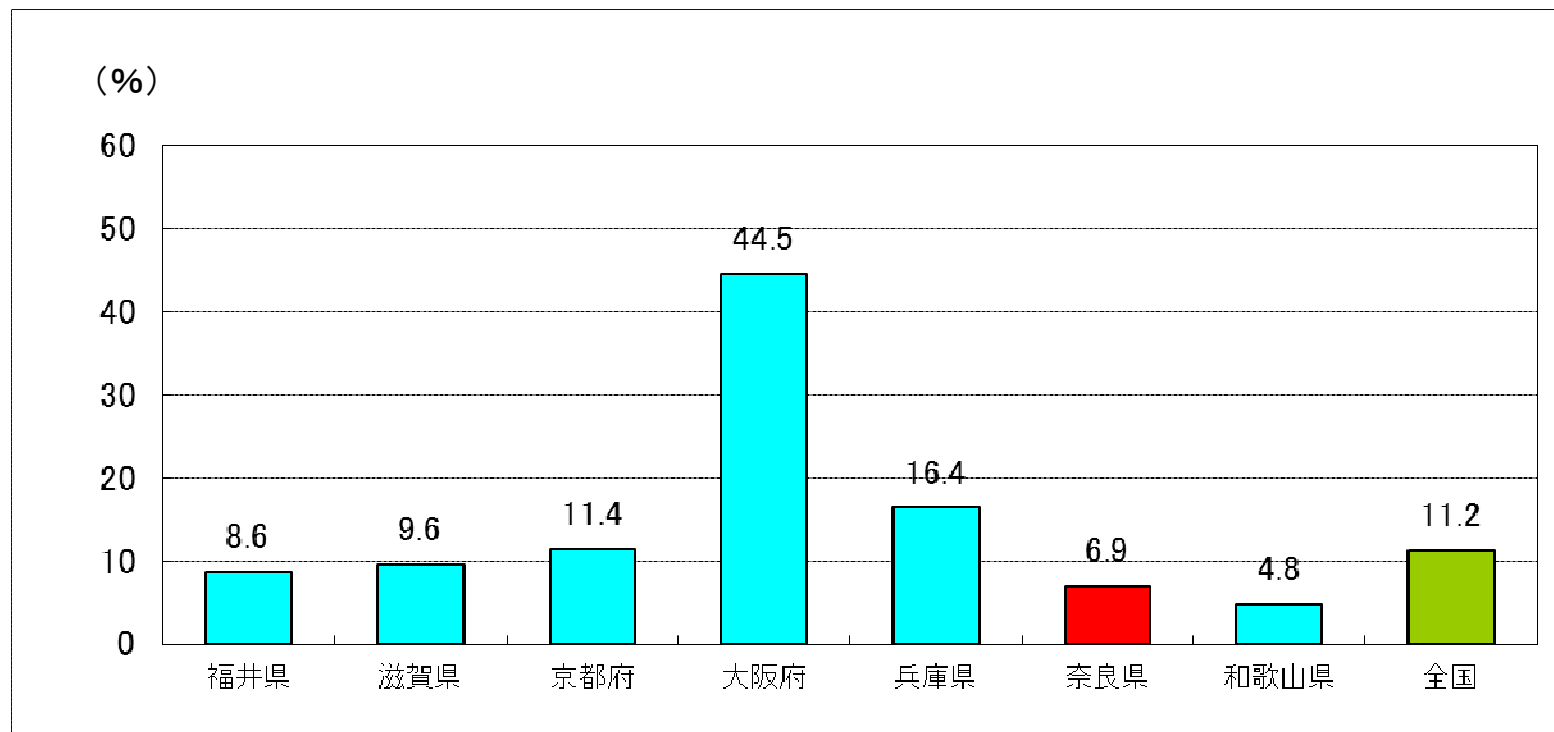
都市計画道路の整備率

○奈良県の都市計画道路の整備率は約49%で全国第43位。

	全国	奈良県	全国順位
都市計画道路の整備率	約60%	約49%	43位
駅前広場の整備数	平均61箇所	69箇所	12位

4車線道路の整備率

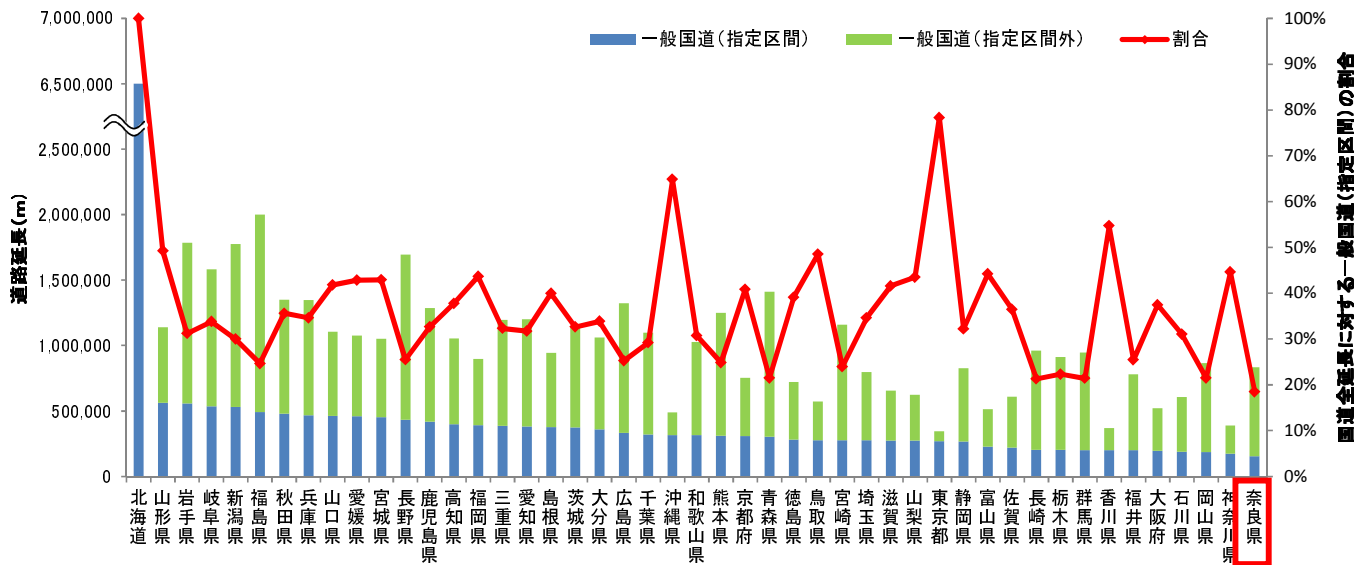
○奈良県内の4車線道路の整備率は、近畿圏内では和歌山に次いで低く、全国平均の約6割。



出典：平成22年度道路交通センサス

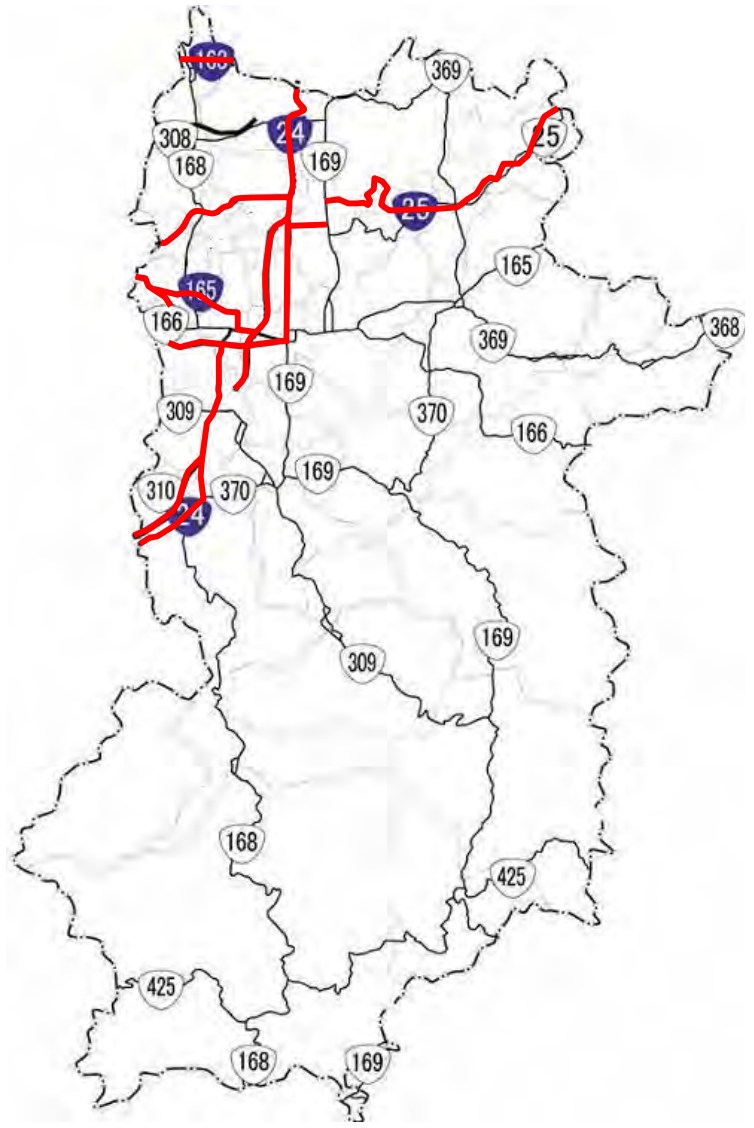
一般国道(指定区間)の延長

○奈良県における一般国道(指定区間)の延長は154.5kmで全国ワースト1位。
 ○一般国道全延長に対する指定区間の割合についても18%で全国ワースト1位。



(平成23年4月1日現在)

出典: 道路統計年報



凡例

- 一般国道(指定区間)
- 一般国道(指定区間外)

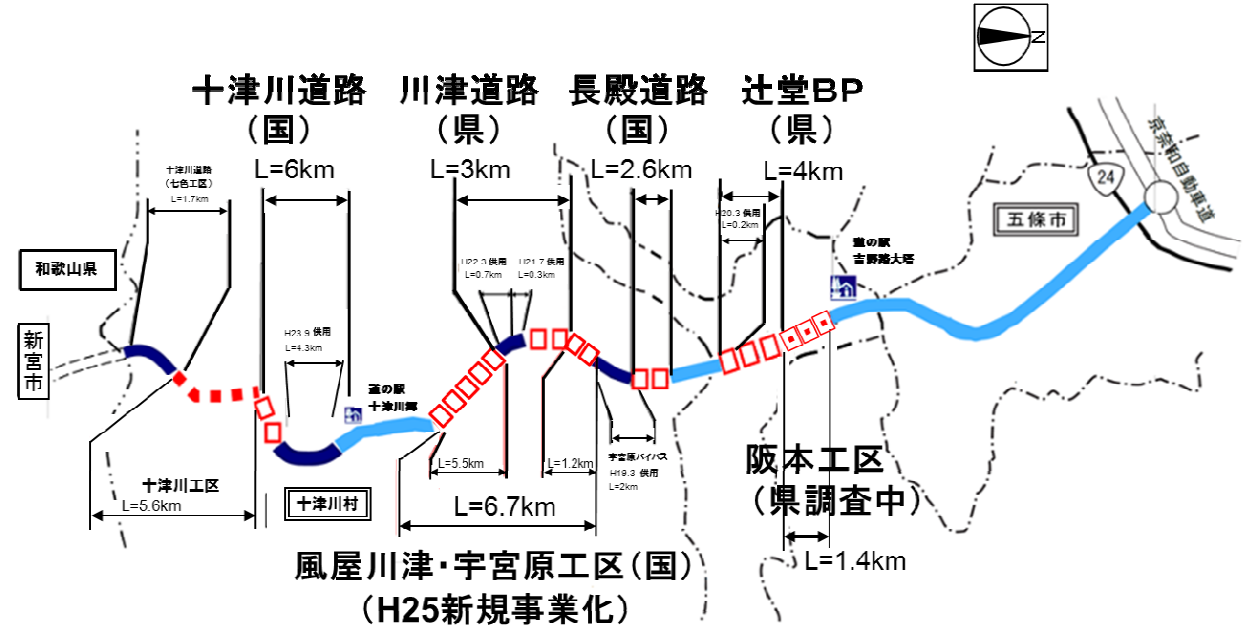
紀伊半島アンカールート



国道168号の整備状況

- ・阪本工区: H26国庫補助採択要望(県)
- ・辻堂BP: 事業中(県)
H20.3 一部供用
- ・長殿道路: 事業中(国)
- ・宇宮原バイパス: H19.3 供用
- ・川津道路: 事業中(県)
- ・風屋川津・宇宮原工区
: H25新規事業化(国)
- ・十津川道路: 事業中(国)
H23.9 一部供用
- ・七色工区: H17.3 供用

国道168号五條新宮道路の進捗状況



※国道168号の整備率は約53%

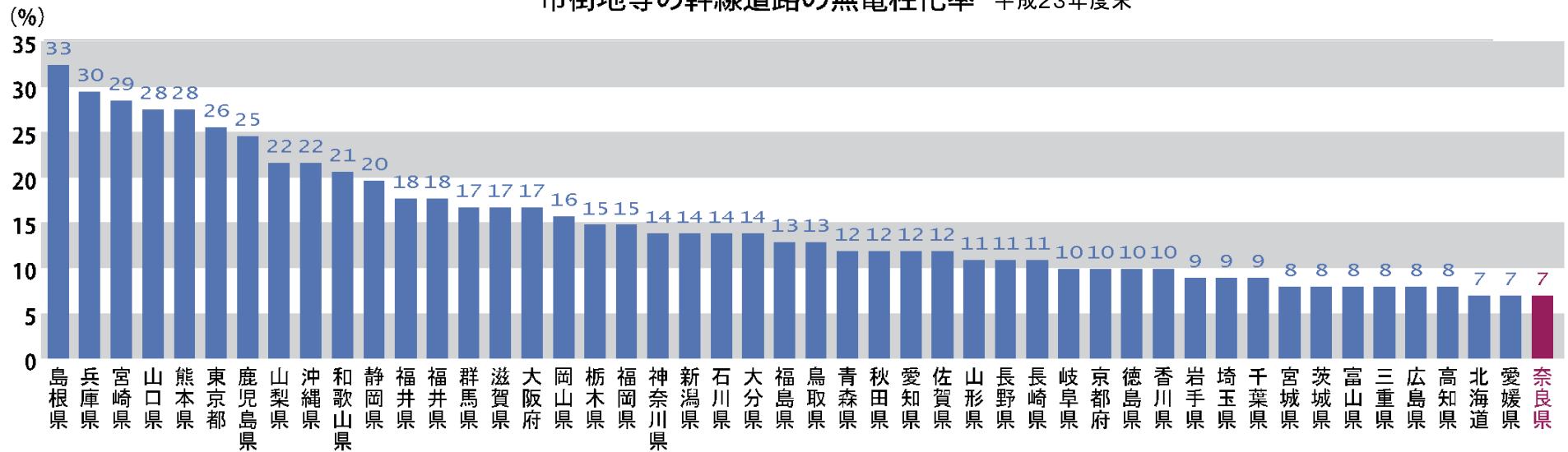
※国道168号の地域高規格道路としての整備率は約10%

無電柱化率

○奈良県の市街地での無電柱化率は約7%で全国ワースト1位。全国平均の約半分。

	全国	奈良県	全国順位
無電中化率	約14%	約7%	45位

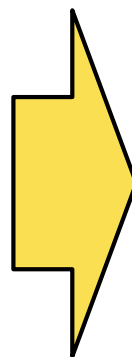
市街地等の幹線道路の無電柱化率 平成23年度末



出典：国土交通省

道路ストックの総点検

1. 橋梁の長寿命化対策（県管理橋梁726橋）
 - 第1期計画(H22～H26)の約9割に着手。
 - 第2期計画(H27～)の策定に着手。
2. トンネル（県管理トンネル130）
 - 照明、標識、警報表示板等の道路附属物を点検し、対策を実施。
3. 舗装、法面・盛土・擁壁等、道路附属物
 - 既存調査結果を含めた必要な点検・調査を実施。



橋梁長寿命化に関する取組状況

H25. 4現在

	管理橋 梁数 (15m以上)	点検実施 橋梁数	点検 実施率	計画策定 橋梁数	計画 策定率	要修繕 橋梁数	修繕実施 済み 橋梁数	修繕 実施率
奈良県	※ 775	775	100.0%	775	100.0%	225	41	18.2%
県内市町村	1,315	1,223	93.0%	922	70.1%	522	12	2.3%
奈良県合計	2,090	1,998	95.6%	1,697	81.2%	747	53	7.1%
全国平均	143,763	138,988	96.7%	124,848	86.8%	68,800	10,042	14.6%

※ 775橋は、長寿命化修繕計画策定以降(H22)に追加された橋梁49を含む。

通学路の安全対策

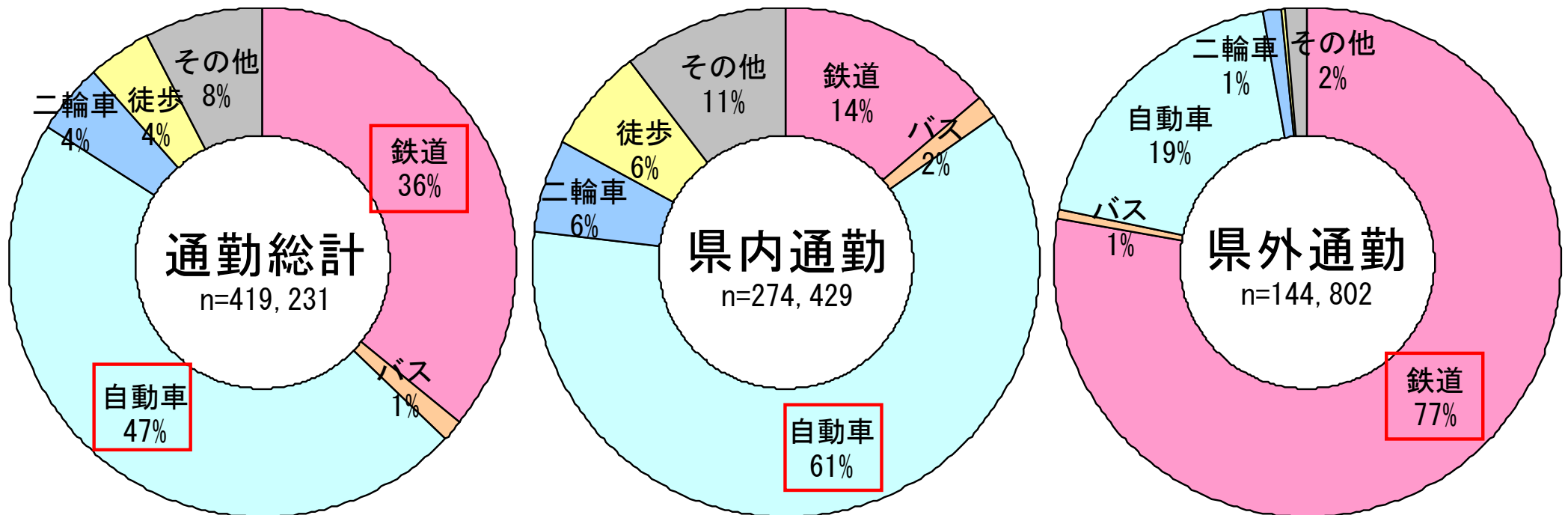
- 通学路の緊急合同点検を国、県、市町村の関係者(教育委員会、道路管理者、警察)で実施し、危険箇所等を抽出(~H24.11)
- 「奈良県通学路安全対策推進会議」の設置(H25.1.18)

(H25.3末時点)

	対策必要箇所	対策済み箇所	整備率
奈良県	1,341	522	39%
全国	74,483	42,662	57%

県内・県外通勤の交通機関分担の割合

- 総通勤者の約4割が鉄道・バス、約5割が自動車・二輪車を利用。
- 県内通勤者の約6割が自動車を利用。
- 県外通勤者の約8割が鉄道を利用。



資料: 第5回パーソントリップ調査 (H22)

鉄道・船舶による貨物輸送量

○物流手段を100%自動車に依存している全国唯一の県であり、自動車輸送の根幹となる幹線道路の整備は極めて重要。

H18年度鉄道・船舶貨物輸送量 (単位:千トン)

	JR貨物 発着量	港湾取扱貨 物量(国内)
神奈川	5,947	101,763
北海道	3,950	183,165
東京	2,272	45,946
三重	2,156	27,537
千葉	1,654	95,523
大阪	1,578	112,679
愛知	1,465	103,505
福岡	1,257	125,440
新潟	1,033	31,262
埼玉	1,020	—
岐阜	975	—
静岡	965	18,886
.	.	.
大分	96	85,642
和歌山	93	25,345
島根	82	4,715
徳島	72	11,130
山梨	44	—
高知	31	20,356
長崎	23	27,601
滋賀	4	—
沖縄	—	20,276
奈良	0	—



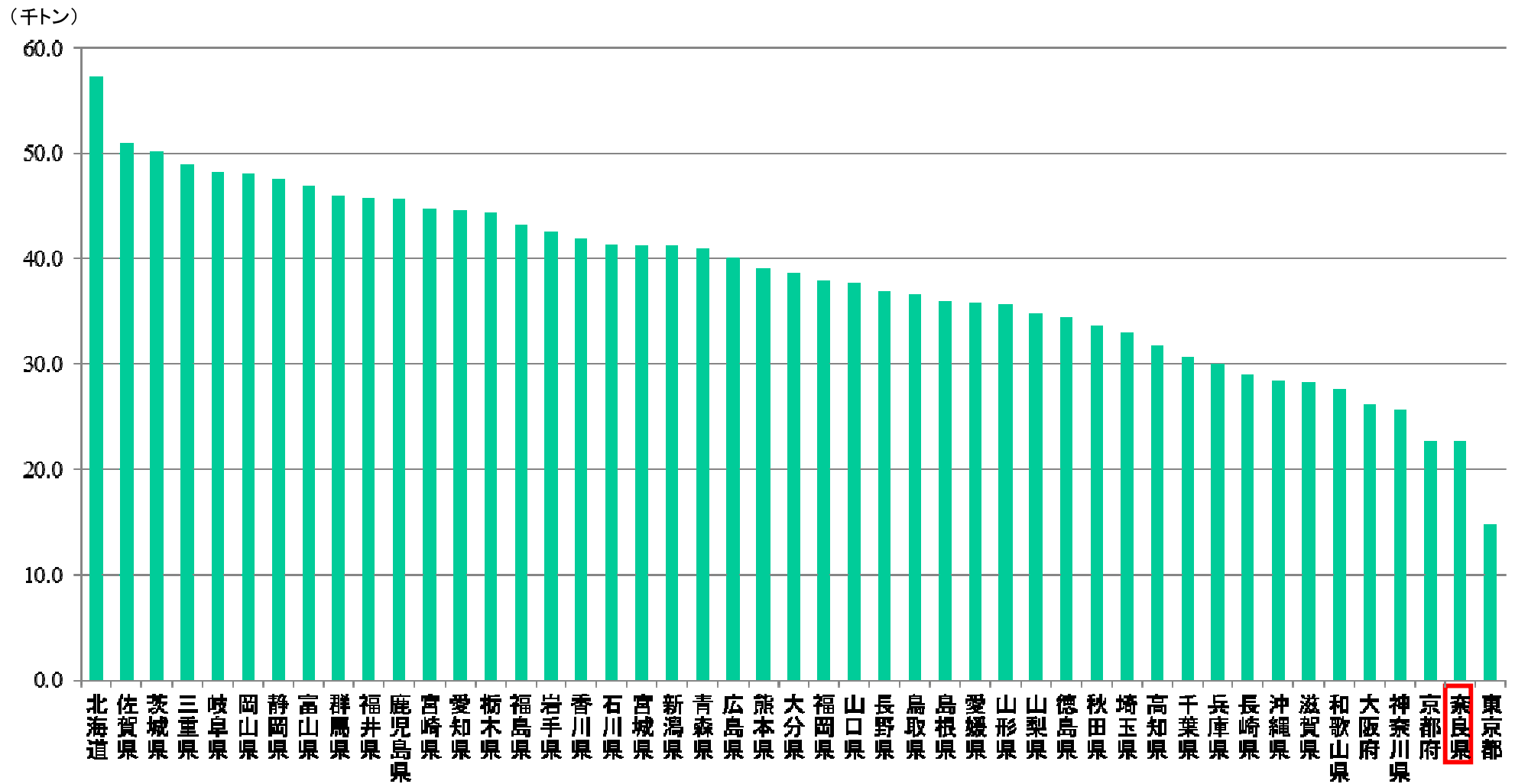
凡例

- 主要貨物列車運転線区
- コンテナ取扱駅(内陸県のみ表示) 120駅
- ◎ 特定重要港湾 23港
- 重要港湾 103港
- ⋯ 内陸県

※ 滋賀県は米原貨物ターミナルを建設中

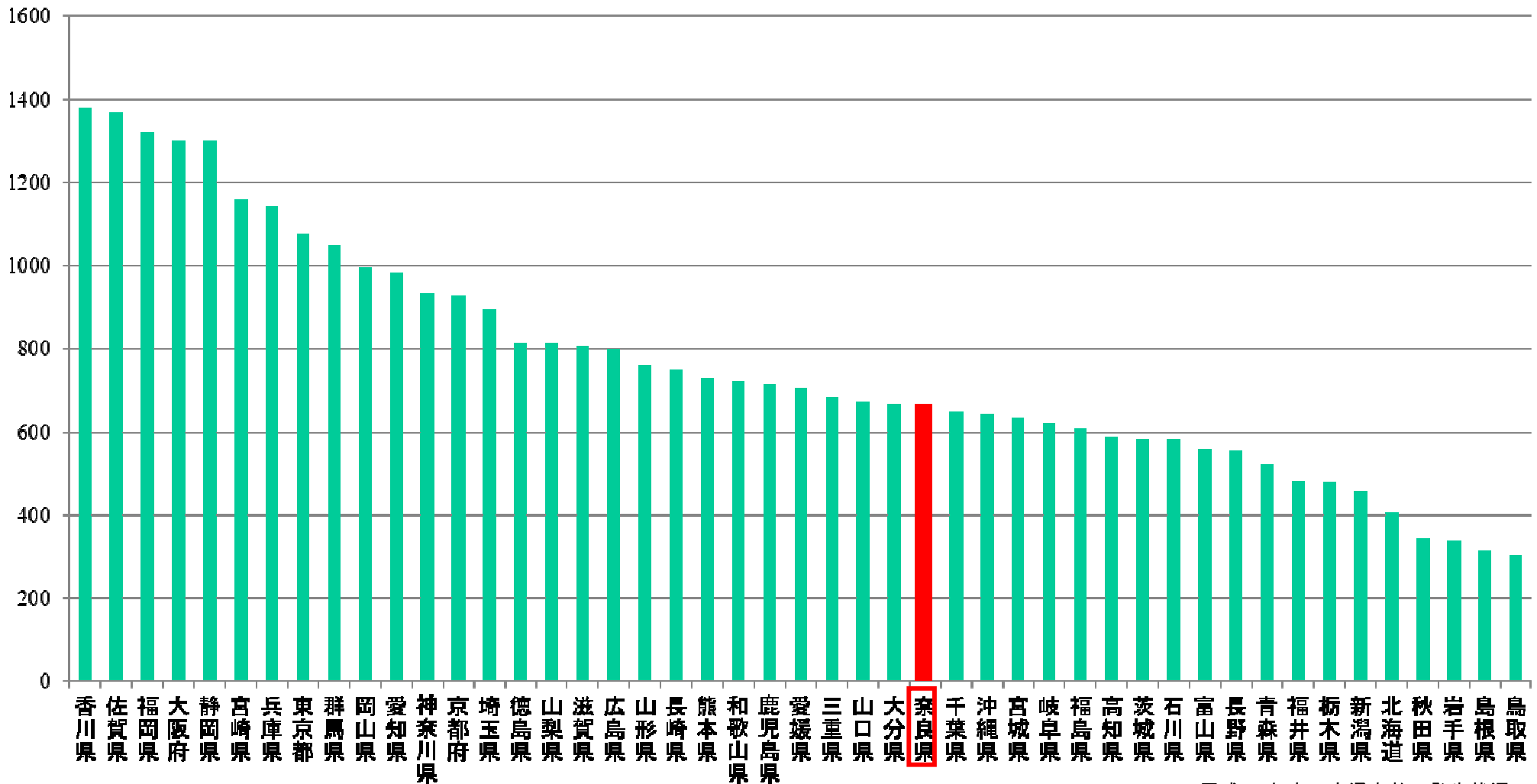
自動車貨物総輸送量

○奈良県の平成23年度の人口千人あたり自動車貨物輸送量は22,600トンで京都府と並んで全国ワースト2位。



自動車類10万台あたりの交通事故の発生件数

○奈良県の自動車類10万台あたりの交通事故の発生件数は664. 6件で全国で20番目に少ない。

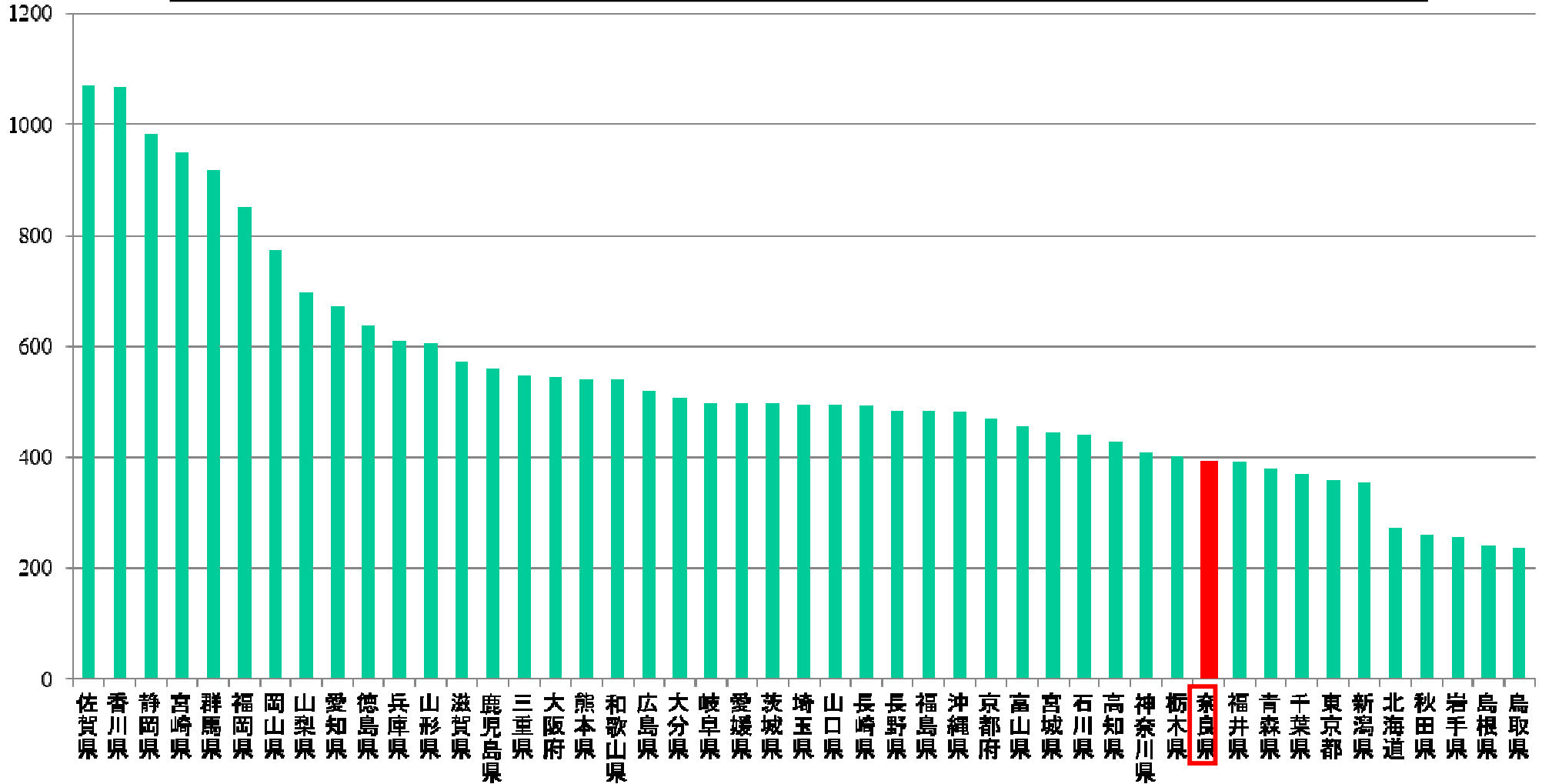


平成24年中の交通事故の発生状況

出典：警察庁交通局

人口10万人あたりの交通事故の発生件数

○奈良県の人口10万人あたりの交通事故の発生件数は392.6件で全国で11番目に少ない。



平成24年中の交通事故の発生状況

出典：警察庁交通局

通行止め回数

○過去5年間ににおける落石、崩土を原因とした通行規制は約200件発生し、1回あたりの通行止め時間は約1,000時間(約43日)。

通行止めの発生回数と通行止め時間の集計 (平成19年度～平成23年度)

通行止め要因	年度内訳 (件数)						通行止め時間	
	H19	H20	H21	H22	H23	合計	合計 (時間)	1回当たりの時間
災害	23	14	47	20	99	203	209,708	1,033.04
事前通行規制	58	70	174	164	309	775	25,282	32.62
合計	81	84	221	184	408	978	234,990	240.28

※事前通行規制とは、大雨・台風による土砂崩れや落石等のおそれのある箇所について、過去の記録などにより予め定められた基準(雨量)に達した場合に、実際に支障が発生する前の段階で実施する通行規制のこと

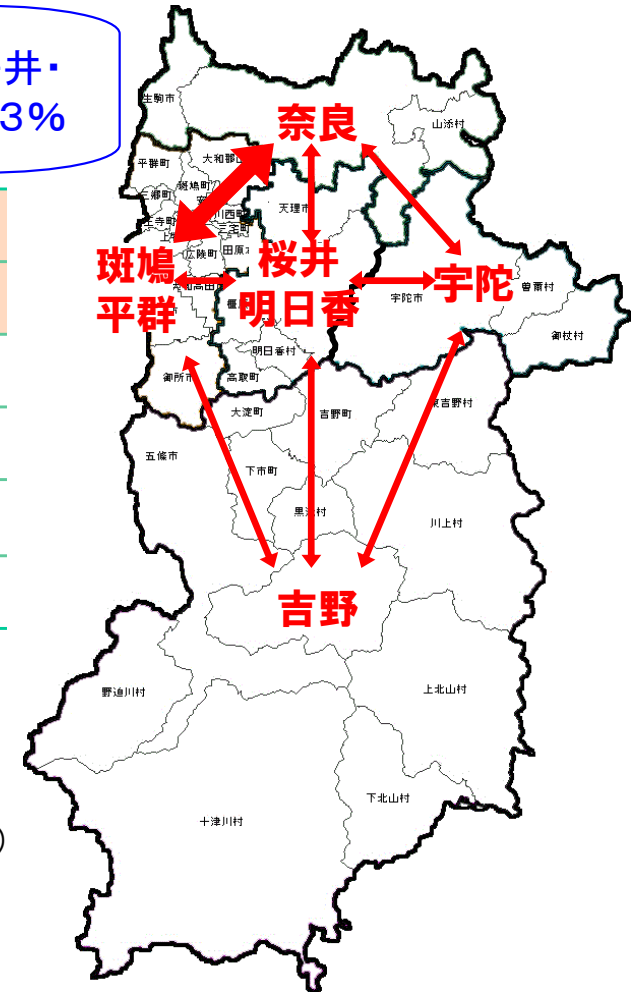
観光客の周遊状況

○奈良県に訪れた観光客が県内を周遊する割合は少ない。

奈良の調査箇所に訪れた観光客が桜井・明日香地域に周遊する割合はわずか3%

		周遊先				
		奈良	斑鳩・平群	桜井・明日香	宇陀	吉野
調査箇所	奈良	97%	11%	3%	1%	1%
	斑鳩・平群	36%	72%	5%	1%	2%
	桜井・明日香	8%	4%	87%	9%	2%
	吉野	3%	1%	3%	1%	98%

斑鳩・平群の調査箇所に訪れた観光客は36%が奈良地域に周遊する



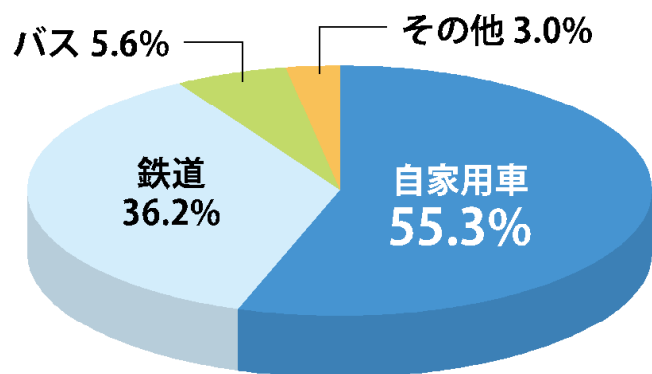
出典：奈良県アンケート調査結果より作成(速報値)

※調査箇所

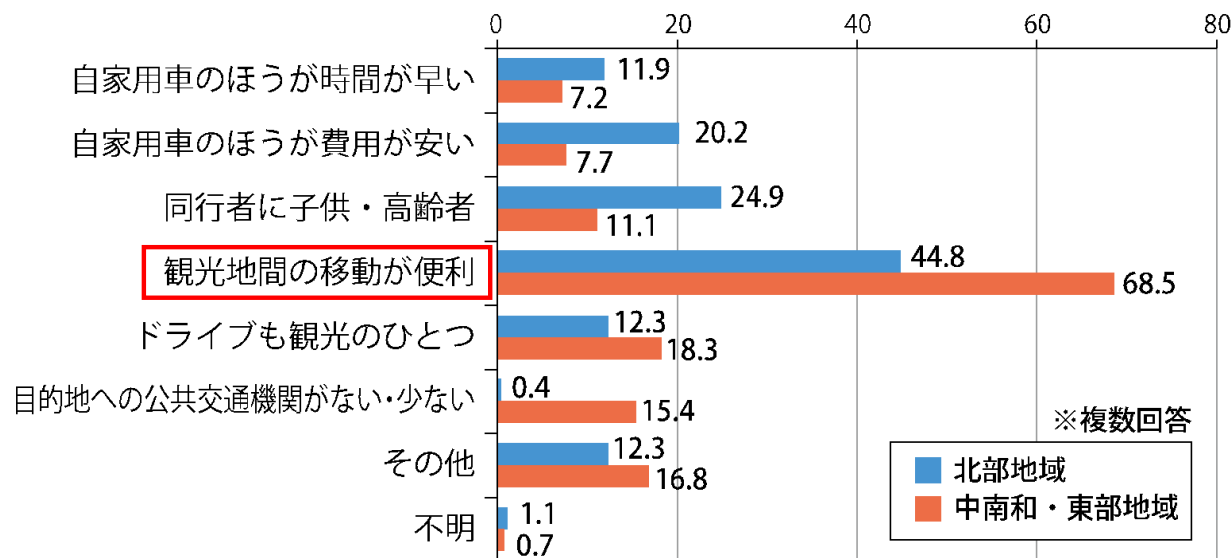
- 奈良：東大寺・ならまち格子の家・唐招提寺
- 斑鳩・平群：法隆寺・信貴山朝護孫子寺
- 桜井・明日香：大神神社・長谷寺・石舞台古墳
- 吉野：金峯山寺・道の駅「十津川郷」

奈良県来訪時の利用交通手段

○観光のために奈良を訪れる方は、約55%が自家用車を利用。
 ○自家用車を利用する理由としては「観光地間の移動が便利」が多い。



観光目的に自家用車を利用する理由



奈良県観光動向実態基礎調査報告書(H22)

奈良県の公共事業予算額(一般会計)

※ 直轄事業負担金含む

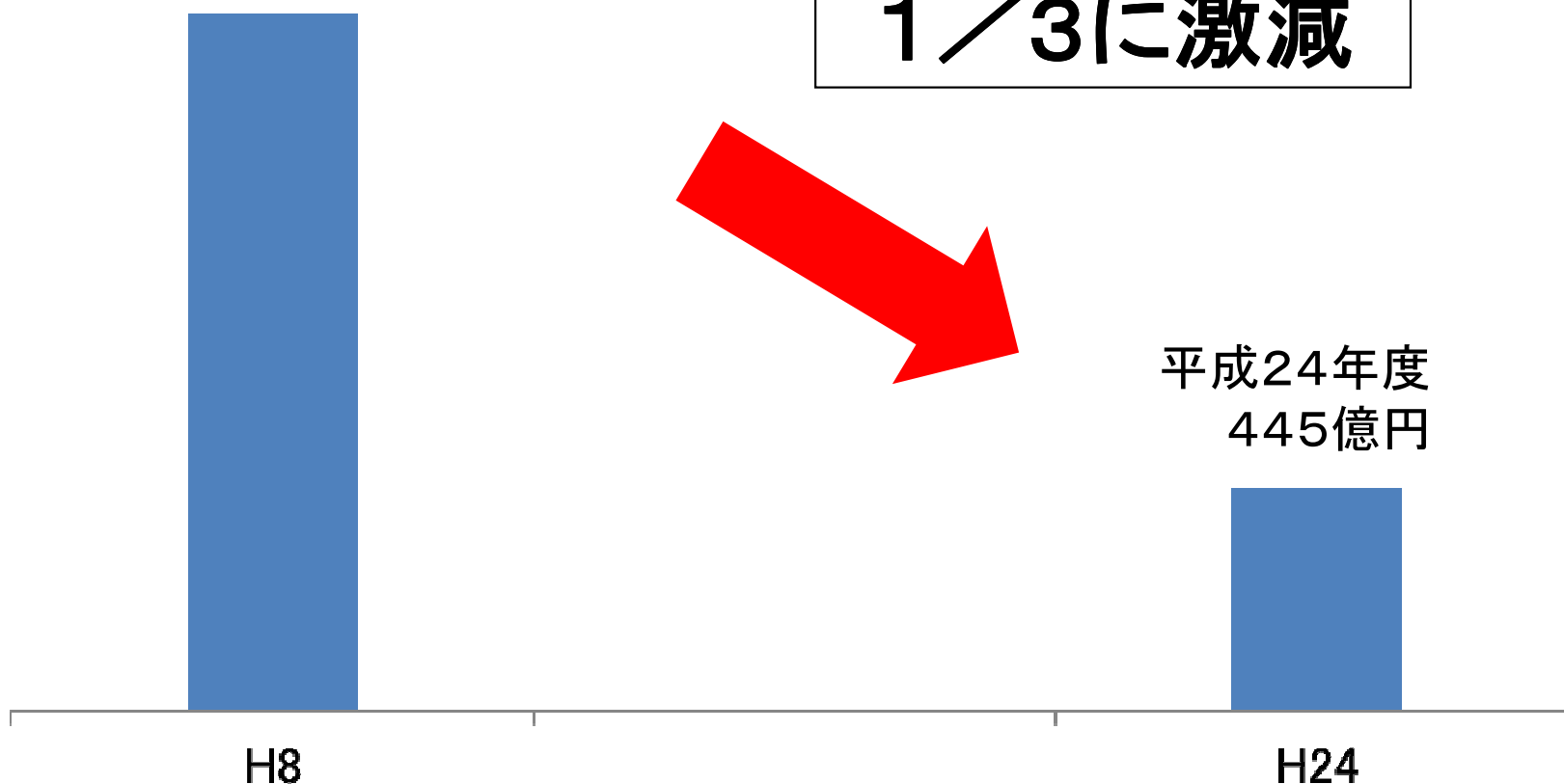
○奈良県の平成24年度公共事業予算は、平成8年度のピーク時から1/3に激減

平成8年度

過去最高額: 1,393億円

1/3に激減

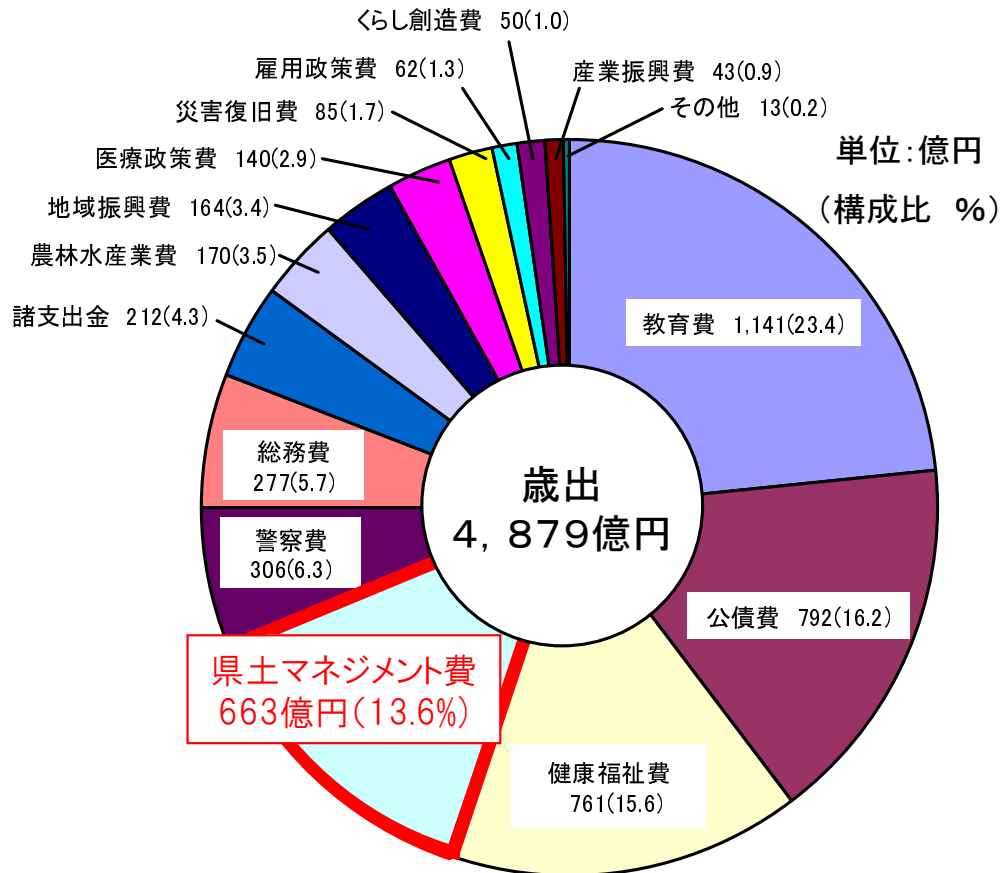
平成24年度
445億円



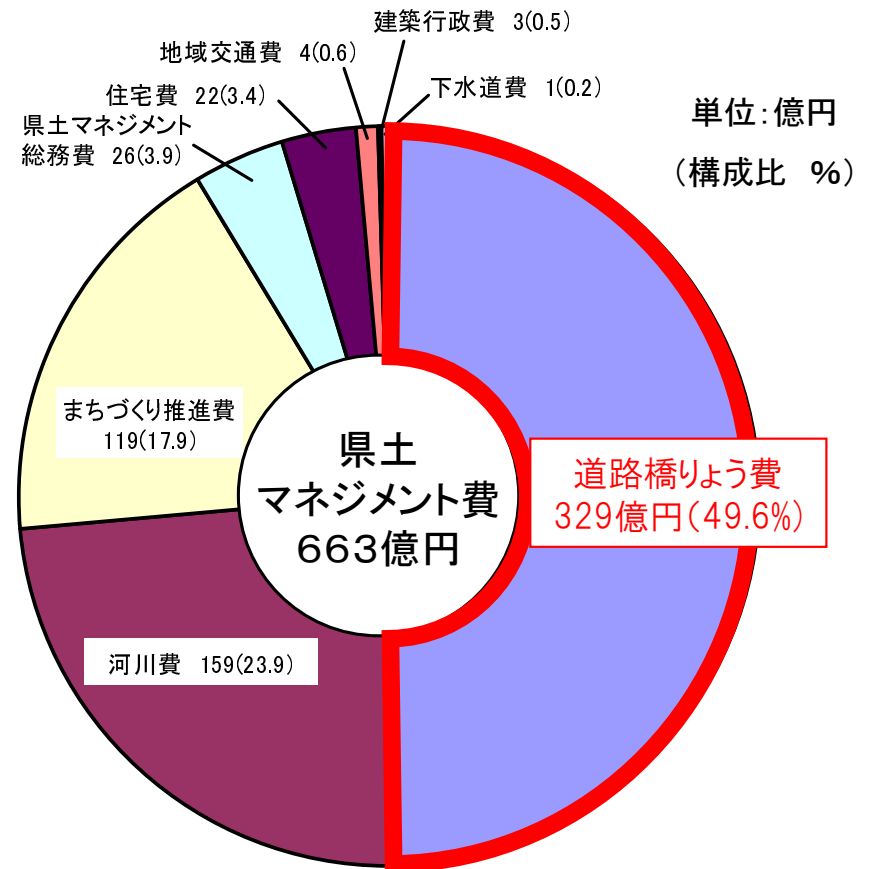
平成25年度当初予算および平成25年2月補正の内訳

○奈良県の歳出額のうち、県土マネジメント費は約14%（災害復旧費は含まず）
 ○県土マネジメント費のうち、道路橋りょう費は約50%

<一般会計>



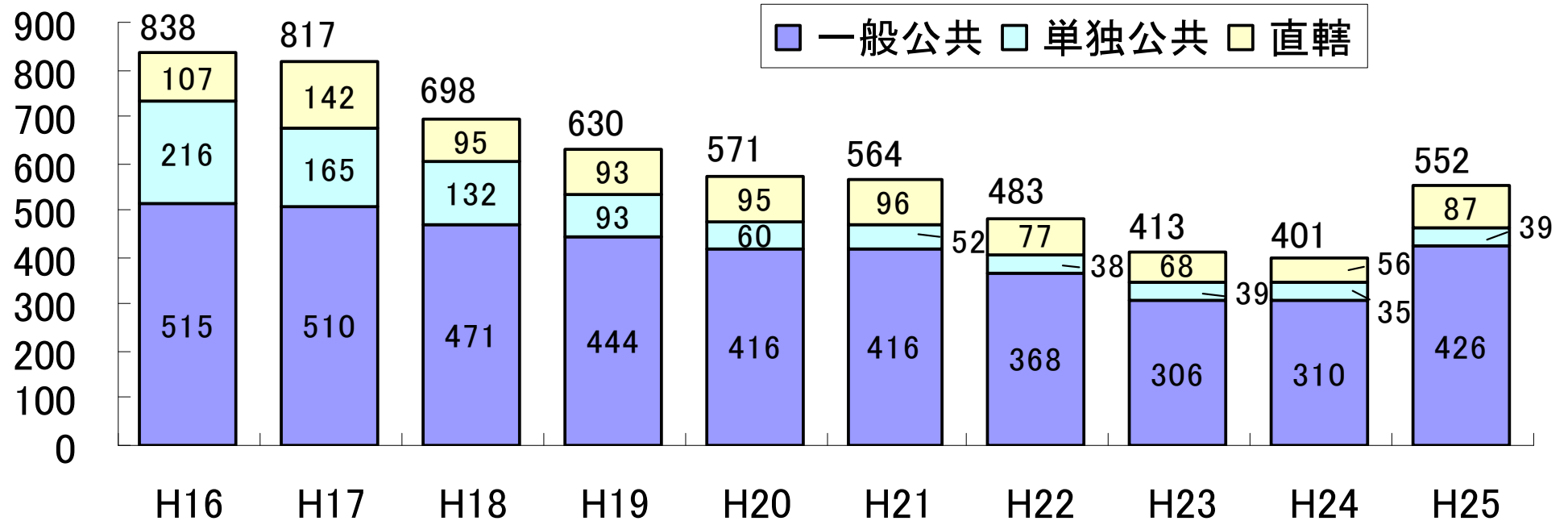
<県土マネジメント部およびまちづくり推進局>



県土マネジメント部・まちづくり推進局の公共事業の推移

○県土マネジメント部・まちづくり推進局の公共事業費は、平成25年度まで下降傾向
 ○平成25年度当初と平成24年度の補正予算を合わせると、平成24年度当初予算の1.4倍に増加

単位：億円



※ 当初予算ベースで作成。

(平成19年、23年度予算は6月補正後の額、平成21、25年度予算は平成20、24年度補正額を含む)